

## 現場から学ぼう - ヤクルト工場見学

第2セメスターが開始され、早くも2ヶ月が経過し、第一期生も福島大学の一構成員として現在行われている学長選挙の質問会や意向投票などで活躍しています。また、第2セメスターでは現場から学ぼうということで工場見学や研究室体験授業等を開始し、将来の研究や職業と結びつけて学ぶことを実践しています。

ここでは杉森助教授から11月26日ヤクルト本社福島工場見学に行った時の感想が寄せられましたのでご紹介いたします。この工場見学には学生15名が参加し、ビフィーネ生産現場の見学、会社概要とプロバイオティクスの説明などを受けました。学生は大型の発酵タンクによるヤクルトの生産、品質試験、プロバイオティクスについて関心を示していました。



また、工場見学での学生の感想では

1) 先日のヤクルト工場の見学ですが、単純そうに見えてなかなか時間を費やしてヤクルトは作られているんだと、初めて知りました。空気を容器に入れられないための技術の工夫も感心しました。今回の見学はなかなか興味深かったです。雑菌の

検査をもっと間近で見れば良かったなあと...

2) ヤクルト工場の中であんなに色々な事が行なわれているとは思いませんでした。菌

の発見はすごいことなだとしみじみと感じました。

3) 工場で働いている人は百人以上いると聞いた記憶があります。しかし、容器作りから容器詰めまで、ほとんどが機械による流れ作業で、実際に製品化にかかわっている人は少なく見えました。機械ではできない、営業などをやっている人が多くいるのかなと感じた。



4) 楽しかったです。ヤクルトの菌が医療の現場で役立っていることや、パック詰めの手方も始めて知りました。

5) 担当の方の分かり易い説明とビデオでよく理解出来ました。ヤ

クルトが、最初は瓶だったことが驚きでした。ヤクルトの素晴らしさが良く分かりました。

共生システム理工学類では、こうした体験を1年生から取り入れ、実践力のある人材育成を目指しています。